

箕島球友会 敗れる

第3代表下 1点返すも及ばず

都市対抗野球

近畿地区2次予選

第86回都市対抗野球
大会近畿地区2次予選

(毎日新聞社・日本野球連盟近畿地区連盟主催)は29日、大阪市此花区の舞洲ベースボールスタジアムで第3代表市(神戸市、兵庫県高砂市)は集中打で二チダ



和歌山箕島球友会—日本新薬 六回表和歌山箕島球友会1死二塁、山下が中前適時打を放つ
—大阪市此花区北港緑地2の舞洲ベースボールスタジアムで

イ(京都府京田辺市)を8-2と突き放した。日本新薬(京都市)も11-1で和歌山箕島球友会(有田市)にコールド勝ちした。【椋田佳代】

▽1回戦

和歌山箕島球友会

0000010001

日本新薬

0412120111

(八回コールド)

(和) 桐原、辻、北面、高橋
裕水田、榊原(目) 滝谷、
加藤、鎌田▽三塁打 黒川、
田中(目)▽二塁打 鎌田2
(目) 高橋孝(和)

日本新薬は二回1死二、三塁から田中の犠飛で先制。吉野、黒川の連続長短打などで、計4点を挙げた。その後も好機を確実にものにした。和歌山箕島球友会は六回に山下の適時打で1点を返したが、相手の継投に封じられた。